

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	労働セミナー事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	新しい芽 リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'03	3 就業の場における処遇の公正化及び男女雇用機会の均等化並びに雇用の安定拡大を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	勤労者、事業主、市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
勤労者の労働や就労に関する問題、社会経済に対する理解や認識が高まっています。		勤労者の労働問題や社会経済に関する知識と教養を高めるため、講演会等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	講演会等開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	4	4	4	4	
	実績	4	4	4		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	講演会等参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	160	160	160	160	
	実績	173	107	110		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
労働関係の法令や判例等、労働に関する基礎的な知識や時節にあった労働問題に関する講座を神奈川県と共催で4日間開催し、勤労者、事業主、労務管理担当者及び市民の知識と理解を深めました。						
平成26年度の検証結果	C : 十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	労働や就労、社会経済に対する理解や知識を高めることは、不当解雇や違法就労の防止、仕事と家庭の両立等労働者の権利を守ることにつながり、必要性が高いです。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	労働関係法令等について、労使がともに知識や理解を高める労働講座の実施は有効性が高いです。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	勤労者や市民だけではなく、対象を事業主や労務管理担当者等に拡げて実施する講座であり、妥当性は高いです。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	労働講座は、主に大学の教員や社会保険労務士等の専門知識を有する者を講師としている上、県との共催で実施していることから、事務的な負担が軽減され、効率的です。	高中低
今後に向けた課題の分析 参加者数を増やすためには事業周知を効果的に行うとともに、時節にあったテーマを捉えて事業を進めていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		講演会等の開催	講演会等の開催	講演会等の開催	講演会等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	136	136	136	136
事業費 (A)		136	136	136	136
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 チラシ等を活用して事業周知の徹底を図るとともに、引き続き勤労者のニーズや時節にあったテーマを捉えながら、労働講座全4回を実施します。
課長コメント 労働関係法令の改正等に伴う労働環境、雇用情勢の変化に対応するため、勤労者のみならず、事業主や労務管理担当者等の知識と理解を深めることは重要であり、今後も事業を継続していく必要があると考えています。